



Yochu-JUMP

第13号



与那原中学校 (Y) 授業力 (J) アップ (Up) 元気 (Moxie) プロジェクト (P) R6.2.22発行

多くの先生方の授業を参観させてもらいながら「学生当時にこのような授業を受けたかったな～」と今の中学生をうらやましく感じます。今週もお二人の素晴らしい実践を紹介します！

ビンゴゲームを取り入れて楽しく文法をマスター

与中英語科で共有されているGreeting や Small Talk でテンポよく授業がスタートしています。また、これも他の英語クラスと同様に**単元のゴールが明確に示されている**ことで、1 minutes Input などの活動も効果的につながっていると感じます。さらに、今回のメイン活動であった Interview Bingo! ではビンゴゲームを取り入れることで、**楽しみながら現在完了進行形の文法をたっぷり使わせる**ことができています。よくできた面白いアイデアで、美和先生の日頃の**教材研究の充実ぶり**がうかがえました。文法についても、どのような場面で活用すれば良いかをモデルで考えさせながら、**英会話で生かせる文法**となるようにしっかりとイメージさせることができています。

様々な教材の工夫もさることながら、**生徒への勇気づけの声かけ**も素晴らしかったです。モデルでペアトークをさせた後「どこが良かった？」と全体に投げかけ、リアクションやアイコンタクトなどの良さを導き出し、**褒めながら全体で共有**しています。**生徒の自己肯定感を高めながら**、次につながる学びを展開できていると感じました。

英語科 大山 美和 先生



配慮と工夫で積み重ねてきた道徳科のモデル授業

3年生の部活動引退の場面を取り扱った教材ということで、導入では学級の生徒たちの部活動の写真を紹介しています。「頑張ってきた良かった」「負けて悔しかった」「自由になれた気がした」など、**生徒が当時の気持ちを思い出しながら素直に表現**できている、スムーズな導入につながっています。また、本時のテーマを示す際には、部活動に取り組んでいなかった**生徒への配慮**もしっかりできており「一生懸命取り組んできたことを終えて、次のステージに向かう気持ち」という表現で**自分事として考えられるような声かけ**ができています。

さらに、①教材を読み終えたあと**隣の生徒と1分間感想を伝え合う**
②**付箋紙に気持ちを書かせる**ことで意見交流をスムーズに
③**隣→近く→座席移動と形態を変化させて意見交流**を行うなど、様々な工夫が見られました。しかし何よりも、すべての生徒がしっかりとテーマに向き合い、意見を交流させている姿は、**優先生がこの1年間授業をしっかりと積み重ねてきた成果**であると感じました。道徳科のモデルとなる素晴らしい授業をありがとうございました！

道徳科 桃原 優 先生



フチャッと DTK 道徳の授業で使えるような話題（歌・言葉・本など）を紹介します！



チームが効果的に機能するために最も影響を与えるのは**心理的安全性(安心)**である。

Google社の研究より

Google社の研究と紹介しましたが、情報元は2/11に本校で実施された人権啓発講演会講師の竹内清文さんのお話からです。「チーム内で安心して自分の意見が言えるか」「チーム内で自分らしくいられるか」がチームの成長に必要なのです。A 個性の伸長や B 相互理解・寛容、C 集団生活の充実などの内容項目において話題にできそうです。